

赤旗読者ニュース

北上かわら版

農協は農家や消費者を守って!

地域農業と暮らし守るシンポ開催

12月1日、JJAいわて花巻・和賀町支店で「地域の農業と暮らしを守るシンポジウム」が開催され、農協の支店統廃合問題などについての講演やディスカッションが行われました。主催は

県農協労組、いわて労連、県農民連、北上労連、自治労連で構成する「農業と農協を考える集会実行委員会」。「いわて食農

JAは2020年3月に管内28の本・支店を17本・支店に統廃合発言しました。

させることはどうすればよいかを一緒に考えたいと思います」と一緒に挨拶しました。

来年3月に支店統廃合

JAは2020年3月に管内28の本・支店を17本・支店に統廃合

農業・農協をめぐる情勢

横山英信岩大教授

が

「地域の農業・農協をめぐる情勢」

と題して講演・基礎調査報告を行いました。横山教授ははじめて7年間の安倍農政について、「農政問題が審議会で議論されなくなり、官邸主導で行われ、農業法や農協法等の改定で戸別所得補償や減反政策、種子法の廃止、農業委員会はずしなどが行われてきた」とのべ、現在の支店廃止問題の根本には安倍政権による農協解体攻撃や企業の農業参入への容易化などがあることを問題提起しました。

さらに横山教授は、「安倍政権はさらに金利を引き下げ、営農指導等での農協の赤字を信用共済事業の黒字で補填している

経営を直撃しようとしている。

いま必要なのは価格保障などで農家に購買力をつけることだ。農家に購買力をつけることだ。そして農協は、安易な支店統廃合は危険であり、金融に走るの

べきだ。農協のよつて立つ基盤

は農家であり、地域住民だ。農



パネルディスカッション。（左から）横山教授、菊池、高橋（暁）、高橋（久）の各パネラー。

JAは2020年3月に管内28の本・支店を17本・支店に統廃合

は「日本農業の衰退の責任を農協に転嫁し、それをテコとして農協を弱体化させ、その事業を真の原因は、食料・農産物市場の開放と、価格・所得政策の後退にある。いわば市場化と私物化だ」と強く批判しました。また、「政府は自主性（農協の）といいながら口を出し、TPP反対運動の司令塔となっている農協を狙い撃ちしている。農家・農協の所得が減ったことについて責任を負うべきは政府ではないか」とのべました。

消費者の立場から参加した高橋久美子さんは、「食と農業にとって農協は大切だと思います。支店がなくなると困るのは私たち消費者や農家です。農協は農家と消費者の強い味方であつてほしいです」と訴えました。フロアからは、「学校などもそ

うだが、支店の統廃合は地域を衰退させる。農協のやり方は一方的ではないか」などの発言がありました。

支店の統廃合と展望

パネラーの菊池さんは、「農協から説明もなく、支店の統廃合は賛成できない。農協はもう農家に足を運ぶべきではないか。そうしないと農協離れが進む」などと農協に注文をつけました。職員の立場から高橋さんは、「農協職場での一番の問題は人員不足で、長時間労働となつている。忙しく働いているのに経営が厳しいとしか言わない。農家や利用者のためと言ひながら支店の統廃合が進められ、職員には矛盾や限界を感じて辞めて行く人もいる」などと現場の切実さを訴えました。

農協改革の本質

横山教授は、農協改革の本質

は「パネラーや参加者からの意見

は「農業の衰退の責任を農

協に転嫁し、それをテコとして農協を弱体化させ、その事業を真の原因は、食料・農産物市場の開放と、価格・所得政策の後退にある。いわば市場化と私物化だ」と強く批判しました。また、「政府は自主性（農協の）といいながら口を出し、TPP反対運動の司令塔となっている農協を狙い撃ちしている。農家・農協の所得が減ったことについて責任を負うべきは政府ではないか」とのべました。

消費者の立場から参加した高橋久美子さんは、「食と農業にとって農協は大切だと思います。支店がなくなると困るのは私たち消費者や農家です。農協は農家と消費者の強い味方であつてほしいです」と訴えました。フロアからは、「学校などもそ

うだが、支店の統廃合は地域を

衰退させる。農協のやり方は一方的ではないか」などの発言がありました。



講演する横山教授

協経営の打開の展望は日本農業の維持・発展の展望とともにあります」と強調しました。

最後に横山教授は、「支店を守るために、農協組合員として、要望書の提出や署名運動などの主体的な行動が求められている」と提言しました。

12月通常市議会は5日から

- 10日午前10時から
○梅木忍議員
・マーケティング戦略による行政運営
- ・SDGsの取り組み
- ・北上マラソン
- 昆野将之議員
・消防団員の活動
- ・郷土芸能の資料等の保護
- 武田勝議員
・グリーンインフラの推進による持続社会の構築
- 高橋孝一議員
・固定資産税課税の不当課税是正への加速
- 平野明紀議員
・地域防災
・子育て支援
- ・自転車活用のまちづくり
- 11日午前10時から
○菊池勝議員
・保育士等人材不足の解消
・民俗芸能の保存・育成・継承
- 小田島徳幸議員
・塚腰住宅の今後
- 高橋晃大議員
・豊川日運動場
- 小原享子議員
・国民健康保険
・予防接種率向上
・健康維持への支援
・公共事業の平準化



※議員一人の持ち時間は1時間以内です。傍聴は自由です。庁舎東側らせん階段を上がり2階に入口があります。身体的に不自由な方は車椅子利用できますので事務局に連絡してください。

◆請願…今回の議会に「私学教育を充実・発展させるための請願」が提出されています。「私学助成をすすめる着手の会」から提出されています。

- 12日午前10時から
○鈴木健二郎議員
・民生委員の確保等
・経営改革
- 熊谷浩紀議員
・遺族へのサービス
・高齢者ドライバーの事故抑制
・ワクチン接種助成
- 安徳壽美子議員
・ひきこもりの実態と対策
・減災・防災対策

- 鈴木健二郎議員
・民生委員の確保等
・経営改革
- 熊谷浩紀議員
・遺族へのサービス
・高齢者ドライバーの事故抑制
・ワクチン接種助成
- 安徳壽美子議員
・ひきこもりの実態と対策
・減災・防災対策

北上革新懇が総会開催

「野党連合政権」学習会と総会開催

11月28日、北上地区革新懇話会総会が開催され、会員らが参加しました。一部では「市民と野党の共闘」の推進の役割を担っている全国革新懇活動について、「野党連合政権への協議」が最初に開始された「れいわ」と日本共産党の会談のDVDを視聴しました。II部では2019年度（第21回）総会が行われました。

野党連合政権に向けた第一歩

DVDは、「れいわ新選組」の山本太郎代表と日本共産党の志位和夫委員長との会談の様子を紹介するものでした。日本共産党は8月26日に、野党連合政権に向けた話し合いを、立憲民主党、国民民主党、社会民主

党、れいわ、そして衆院会派に呼びかけていましたが、今回の会談はそれを受けたもので、9月21日、国会内でおこなわれました。ここでは①野党連合政権をつくるための協力、②安倍9条改憲に反対する、③消費税10%に反対し、廃止を目指として、その道すじ、財源を協議し、野党共闘の発展に努力するの3点で合意し、野党連合政権に向けた第一歩を踏み出しています。その後、社会民主党とも協議が行われています。

活動方針を決定

総会では、平和・民主主義・生活向上の3つの目標にもとづいて活動をすすめ、懇談会や講演会、学習会等を企画するとしています。特に、憲法9条改憲阻止と野党連合政権実現に向けた運動、消費税5%減税に向けた運動をすすめます。

なお、北上革新懇では前記した「革新3目標」にもとづく活動に賛同する市民の入会を呼びかけています。連絡・問い合わせは事務局（高橋美智雄 67・3886）までお願いします。



◆お詫びと訂正
先週号で「沖縄とつながる岩手の会」は「ピースアクション」の誤りでした。お詫びして訂正します。

◆あの日のオルガン 北上上映会◆ いよいよ上映会が行われます。誘い合っておいで下さい。

- ◆日時・場所 12月9日（月）北上市さくらホール（中ホール）
1回目（10：30）2回目（13：30）3回目（18：30）
- ◆上映時間 約2時間
- ◆入場料（前売）一般・シニア・大学生1100円、小中高生800円
(当日) 一般・シニア1500円、大学生1300円、小中高生800円
主催 映画「あの日のオルガン」北上上映実行委員会
(代表団体「新日本婦人の会北上支部」鈴木 63-4654)
《チケット取扱所》さくらホール、さくら野百貨店プレイガイド1階

